

## 研究論文について

### (1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階（第一次審査、第二次審査）で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

住宅・まちづくりに関する、以下の報告区分に該当する研究論文とする。

- 1) 住宅・住宅系まちづくりに関して、新しい課題として有効な知見を得たもので、原則として未発表のもの
- 2) 住宅・住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・活動などに関する提案的実践の報告
- 3) 住宅・住宅系まちづくりに関する問題提起的な論説

### (2) 審査のスケジュール

#### ◇応募登録

「建築雑誌4月号」誌上及びHPにて「第9回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。

2014年5月9日 応募締め切り。応募総数41題。

#### ◇研究論文投稿

2014年7月3日 投稿締め切り。投稿総数27編。

#### ◇一次審査

形式審査による不採用論文はなかった。

2014年7月11日～8月1日 27編について、査読者による審査。

2014年8月11日 一次判定会議開催。採用2編、再提出20編、不採用5編を判定。

#### ◇再提出投稿

2014年9月8日 再提出締め切り。再提出18編。

#### ◇二次審査

2014年9月16日～9月23日 査読者による二次審査。

2014年9月25日 最終判定会議開催。採用18編を判定。一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用20編、不採用5編。

### (3) 審査の概要

#### ◇形式審査

投稿論文（27編）について、運営幹事会による形式審査の結果、すべてが一次審査の対象となった。

#### ◇一次審査

投稿論文（27編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」2編、「採用+再提出」5編、「再提出+再提出」13編、「再提出+不採用」5編、「不採用+不採用」2編であった。

このうち、「再提出+不採用」5編について、運営幹事会において採否の審議を行い、2編を再提出、3編を不採用とした。その結果、採用2編、再提出20編、不採用5編とした。

#### ◇二次審査

再提出論文（18編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」18編であった。その結果、採用18編とした。以上より、一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用20編、不採用5編となった。